

● 6月30日(水) 曇 移動(トムラウシ温泉からトmam・占冠・日高) マオイの丘泊

・東大雪荘の311号室は12畳くらいの和室でバス・トイレ付き、なかなか良い部屋だ。いつものように4時に目が覚めた。昨日メチャ気持ちの良かった温泉へ直行した。私が朝風呂に入るなんて大変珍しい、朝食の心配は無いし、とにかく今朝は気分がいい。

露天風呂で空を見上げると天気はあまりよくなさそう、薄曇りだ。昨日トムラウシ山に登ったのは大成功だ。朝食はバイキング形式、牛乳たっぷりのコーンフレークに半熟卵、ソーセージ。トマト、キャベツなど野菜もたっぷり、佃煮など和食系も取り入れて満足。

・さて今日はどうしようか。パソコン、地図、計画書などを眺めながら思案・計画する。思い出のトmamに寄って、占冠、日高へ行ってみよう、日高で泊まろうかと計画した。

・10850円の精算を済ませて駐車場に設備されている洗車用の水道で洗車してから、東大雪荘を9時過ぎに出発した。走るとまもなく雨が降り出した。今洗車したばかりなのに。でも昨日までは快晴だったのが嘘みたいラッキーだ！

・718号線を南下して新得町で国道38号線に入り西に向かって走るとすぐにサホロリゾートが現れる。今まで何回も前を通りながら入ったことが無かったので今回は寄ってみた。本来はスキー場が主体らしく、夏はリゾートとして利用しているのだろうが、まだ夏休み前で今日は平日だし、広い駐車場に車がチラホラ寂しいかぎり。おまけに冷たい雨が降っているの、園内をざっと回ってみたがさほど面白いところも無さそうなので、車から降りることもなくサホロリゾートを後にした。

・次は懐かしいトmamリゾートに寄った。幸いここは雨が降っていないので車から降りて少し歩いた。ここもシーズン前のためか車も人もほとんどいなくて閑散としていた。

ホテル塔の外壁がリニューアルされてすっかり



立派な「東大雪荘」



小雨に寂しいサホロリゾート



外壁がリニューアルされたトmamホテル

カラフルになっていた。ホテル内に入って懐かしい渡り廊下などを歩いてみた。

・トマムを後にして西に向かい占冠へ入った。占冠では占冠駅と道の駅「しむかつぶ」に寄ったが、どちらも人影もない寂しいところ、おまけにどんよりと曇って寒々としているので、さっさと引き上げて日高へ向かった。日高には昼過ぎに着いた。ここは結構賑やかな町で道の駅「樹海ロード日高」は商店街の一角にあり食べ物屋やコンビニも結構揃っているが、どうも泊まれる雰囲気ではないし、雨が降っていて寂しく明日も雨模様らしいし、Eメールの電波も届かないので、日高泊をやめて千歳まで行くことにした。



うら寂しいJR占冠駅

・高速無料化の恩恵をうけて千歳東インターまで高速を飛ばし道の駅「マオイの丘」へ着いた。途中天候が不安定で大雨に遭ったりしたがここマオイの丘に着いたら薄日が差してきた、いま午後4時。さっそくパソコンを開いてメールの確認をしたら、くだらないメールばかり数百通も入っていた。不要なメールを削除し残ったメールに目を通し、永田さんと気まま歩きの仲間に報告のメールを入れて一段落した。さて夕食の準備だ。

・今日の夕食はすごいぞ！ セイコーマートで買ってきた豚肉をキャベツと炒め醤油、シソドレで味付け、これを肴にビール2缶。その上に水 500cc 加えて味噌ラーメンを作って夕食完了。いま6時半天気も回復してきたし、ほろ酔いで気分は良いし、そろそろ寝るか。

*来る7月3日は私の70歳の誕生日、古希だ。予定ではトムラウシの東大雪荘で迎えるつもりだったが既に泊まってしまったので、毎年利用している層雲峡のユースホステルで迎えようと、今日日高から予約した。天気良ければ赤岳、白雲岳、黒岳などの大雪山と天塩岳などが待っているぞ！

おやすみ。

● 7月1日(木) 雨 移動(マオイの丘～道の駅巡り～雨竜・北竜) 北竜泊

・今日から7月だ！ 7月初日の朝はマオイの丘・雨の中で明けた。今日から当分の間天気は良くないとの予報だ。これからどうしようかと思案。しばらく道の駅巡りでもして天候の回復を待ちながら7月3日の層雲峡ユースホステルへ向かうことにした。

・ゆっくりと7時に起床、外は雨で身動きがとれないので、車内で簡単に朝食(サンドイッチ、コーヒーに牛乳)を済ませた。ベッドを畳むとき折り畳み用の蝶番が壊れてしまったので取り替えなければならない。10時の開店を待って、行きつけの千歳ダイソーへ向かったが、間違えて恵庭に来てしまった。恵庭でダイソーを探したら、でかいショッピングモールの一角にこれまたでかいダイソーがあったので蝶番と机の脚を購入した。ここは初めてだ。ちょうど雨も上がったので広い駐車場の一角をお借りしてベッドの修理をしてしまった。前を見るとスーパーがあったので、これからの酒の肴にいろいろなおつまみと、トマト、キュウリなどの野菜類を買った。

・これからの天気はあまり期待できそうもないので、明日は雨でも歩ける雨竜湿原に行こうと決めて北へ向かって出発した。目的地北竜までは途中道の駅のスタンプを集めながら移動すること

にした。まず道の駅「三笠」。ここは私が北海道山紀行を始めて、まず最初に泊まったところで非常に懐かしい駅だ。ちょうど昼になったので「ぶっかけめん」で昼食をとり、次の駅「ハウスマルビ奈井江」へ。ここは2階にパソコン用コーナーが設備されていて自由に使用できる。さっそくパソコンを持ち込んで、メールを確認したりインターネットで縮専ソフトをダウンロードしたりして小一時間滞在した。次はお隣の道の駅「つるぬま」。昨年夕食をした温泉施設は工事中で、温泉は営業していたがレストランは休業していた。次はちょっと遠回りして「歌志内チロルの湯」を通って滝川の駅へ。どちらもいつも寄るだけだが、おなじみの駅だ。そして目的の道の駅「田園の里うりゅう」へ着いたが、空は薄曇りで駐車場には車が殆どなくうら寂しい、おまけにここは温泉もない。時計を見るとまだ5時前だ。温泉のある北竜まで行ってしまおうと、雨竜を後にした。おとぎの国のような建物の建つ「サンフラワー北竜」には5時過ぎに到着した。



懐かしい道の駅「三笠」



おとぎの国のような建物の建つ「サンフラワー北竜」

・ゆっくり温泉に入って、いまこの日記を書いている。

天気は若干雲が多いが薄日も差すほどになってきた。恵庭で買ってきたつまみをつつきながらビール3缶空けた。明日は雨の雨竜湿原を歩くことになるのかな。今日はもう寝る！

● 7月2日(金) 晴 雨竜湿原 当麻泊

・6時に起床、外は雨模様だが今は止んでいてあたり一面霧に包まれている。牛乳とリンゴデニッシュの朝食後、コーヒーを飲みながら「さて今日はどこへ行こうか」と思案する。「ダメモトで雨竜湿原へ行ってみるか、雨が降ったら引き返せばいい。」と決めて7時半に雨竜湿原へ向けて出発した。車が全くいない432号線を80km/hで快走、途中から砂利道になったが50km/hでぶっ飛ばし8時15分に登山口の南暑寒荘駐車場に到着した。今朝の心配は何だったのか！ここは晴れていて登山者もかなりいる。



青空も見える南暑寒荘駐車場

・さっそく身支度して出発準備。8時半、入山料500円を払い、入山届けに記載して登山開始。太陽が照りつけメチャ暑くて汗だらけで湿原を目差して登った。でもここは以前にも来ているので良く覚えていて楽しい道だ。



シナノキンバイソウ



オオバタチツボスミレ

湿原入口にオオバタチツボスミレが群生して花を咲かせていた。お化けみたいに大きなスミレ、でも花は大きなタチツボスミレでなかなかきれいだった。そのそばにシナノキンバイソウが大柄で黄色の美しい花を咲かせ、しばし写真を撮りまくった。湿原に出たらなんと！南暑寒岳と暑寒別岳の山並みが



湿原に出ると南暑寒岳と暑寒別岳が前方に見えた

くっきりと見えている。展望台でしばらく大パノラマの展望を楽しんだ。天気が良いので湿原を一周した。約1時間半の木道歩きだが、前回と違い今回は花が多かったので写真を撮りながらの楽しい散策が出来た。エゾノリュウキンカ、ヒメシャクナゲ、チングルマ、ミズバショウなどなど。





13時に登山口駐車場に戻り、キャンプ場の水道をお借りして汗まみれの衣類を水洗いした。

・今日の宿泊地は当麻にして、これから道の駅を回りながら当麻へ向かうことにした。天気はすっかり晴れ上がり猛暑の中を、秩父別、深川、旭川、当麻の道の駅に寄りながら、5時過ぎに毎年泊まっている当麻ヘルシーシャトーの駐車場に無事到着した。福山のお兄さん（松波さん）と多摩ナンバーの軽ワゴンのおじいさんが今年もここに滞在していた。一年ぶりの再会を挨拶してからとにかく汗を流しに温泉へ。風呂から上がって夕食の支度、いつもより遅く6時を回っている。タマネギと千切りキャベツと豚肉の炒め物（定番）、鯖の塩焼き、キンピラゴボウという豪華なおつまみでビールを3缶、良い気分飲んでいたら、突然雨が降り出しそれも土砂降りだ！ 雷も鳴り出し大荒れの天気となり夕食どころではない。幸いこの駐車場には屋根付き部分が4台分くらいあるので、屋根の下へ車を移動して避難した。おかげさまで無事夕食を終える頃には雨も小降りになり、薄日も差すほどに。

・駐車場には今夜泊まる車が次々と入ってきた。みんなワンボックスタイプの立派なキャンピンググ仕様車だ。ホームレスみたいなみすぼらしいおじさんがやってきて「俺はここ当麻の住民だが俺の土地に住む気はないか？」と話しかけてきた。「いまのところそんな気は無い」と言うと、小雨の中寂しそうに何処かへ去っていった。今年奥さんを亡くして寂しいと云っていた。

ベッドメイクして寝に着いた頃には雨も止んでいた。

○こうして60歳最後の夜は当麻の運動公園の駐車場で暮れていった。

明日は私の誕生日7月3日。北海道で古希を迎えることになる。

今日は予想に反し、晴天の雨竜沼湿原で暑寒別岳を眺めるというすばらしい贈り物を頂いた。

明日はどうも天気は良くないようだ。おやすみ。